

日本不整脈学会・日本心電学会－合同 不整脈専門医認定制度委員会

日時：平成 23 年 10 月 21 日（金）、10:00-11:00

場所：日石横浜ビル 24 階中会議室

出席者（敬称略、順不同）：小林義典、平尾見三、松本万夫、安部治彦、
池田隆徳、石川利之、臼田和生、熊谷浩一郎、庄田守男、副島京子、
高柳 寛、池主雅臣、中村好秀、庭野慎一、八木哲夫、山下武志、
山城荒平、山根禎一、渡辺一郎

（19 名/全委員 27 名）

大江 透（顧問）

- 1) 小林義典委員長より、前回議事録の確認が行われた。
- 2) 専門医研修施設認定の進捗状況、これからの予定について
施設認定については、現在までに 128 施設から申請応募があった。6 施設に症例不足があり、基準を満たしていない施設があったが、各地域担当委員により地域性および状況を調査してもらい、その結果を本委員会のコアメンバーで検討し、委員会に報告する。11 月 30 日が締め切りであるが、1 月上旬にはホームページで認定施設を公開する。
（山下委員）施設基準を満たしていなくても、専門性、地域性を考慮して各都道府県 1 施設を基準に認定施設になってもらえるように各地域担当委員に推薦を書いてもらい、検討する。
（平尾副委員長）会頭より、施設認定を認めなかった施設に対しても、また基準を満たしていなくとも認定された施設に対しても、結果の報告には合理的なコメント（理由）をつけておいた方が良く、との助言をうけた。
（中村委員）子供病院のように特殊な医療機関に関して配慮していただいているのは有り難い。小児心電学会等で、施設基準を満たしていなくとも施設認定を申請することに関しては問題ないか？との質問があり、問題ない旨説明された。
- 3) 専門医資格認定委員会の実務委員について
小林委員長から庄田委員に対して、来年度からの試験その他についての実務委員を増やすように提案があった。庄田委員から既に東京近郊在住

の大学病院勤務若手医師を中心に候補をつのっており、協力を願う旨の説明があった。

- 4) 過渡的措置による資格認定委員会について
青沼委員不在。報告なし。今後、過渡的措置による資格認定においても、多くの実務をこなす必要があることから、青沼委員に 5 名程度の実務委員を推薦してもらうこととする。
- 5) 試験問題作成委員会：平尾副委員長より、試験問題の二次評価が終了していないことが報告された。残りの評価（全体の 1/3）は近日中に行うことで一致した。
- 6) 資格更新委員会：野上委員不在。報告なし。規約の施行細則の作成と更新単位等の基準の見直しについて検討を進める。また単位集積のインフラ整備をお願いする。
- 7) 山下委員：本専門医制度は不整脈専門医として看板を掲げることが可能なのかについて意見がだされ、議論された。これに対して「日本不整脈学会・日本心電学会認定 不整脈専門医」との名称であれば可能であるとの意見が出された。小林委員長からは、現在厚生労働省や専門医評価認定機構が専門医制度そのものを改定する方向で進めているが、その内容によっては特に Sub-sub speciality 領域の専門医制度の構築、専門医の広告が制約される可能性がある。その際は専門医以外の名称（例えば学会認定医）を用いる必要が生じるかもしれない、との意見が出された。

文責：安部治彦、小林義典